

令和7年度 第2回千歳市公立大学法人評価委員会 議事要旨

1 日時 令和7年8月5日（火） 13時30分から14時00分まで

2 場所 千歳市役所庁議室

3 出席者

【委員】 委員長 馬場 直志
委員 小川 恭孝
委員 福村 景範
委員 宮崎 知宏
委員 田瀬 祥夫

【千歳市】 企画部 森部長
公立大学政策課 倉島課長、増田係長

【法人】 林事務局次長、木村企画総務課長

4 傍聴者 1名

5 会議次第

- ・開会
- ・議題

- (1) 公立大学法人公立千歳科学技術大学 第1期中期目標期間業務実績評価書（案）について
- (2) 今後のスケジュールについて
- (3) その他

- ・閉会

6 会議の概要

(1) 結果概要

第1回評価委員会における意見を踏まえ作成した第1期中期目標期間業務実績評価書（案）について審議を行った。本日の意見を踏まえ評価書（案）を修正することとし、その内容確認については委員長に一任された。また、評価スケジュールについて説明し、了承された。

(2) 議事概要

議題（1）公立大学法人公立千歳科学技術大学 第1期中期目標期間業務実績評価書（案）について
評価書（案）について事務局が説明し、その後審議を行った。

【事務局】 前回の評価委員会での意見を反映させた評価書（案）を作成した。審議の前に、前回いただいた質問について、法人から回答する。

【法人】 指標⑪ 公開講座満足度が低下している要因について、アンケート調査結果から想定されることは、第1回、第2回の開催時に「あまり理解ができなかった」との回答がそれぞれ20%、30%あり、個別意見でも「難しかった」との回答が見受けられた。このことから、講座内容の理解度が満足度に反映したものと推測している。なお、公開講座の開催にあたり、できるだけ多くのテーマの紹介や新たに採用した教員を講師とするなどの工夫をしており、令和6年度に担当した教員も、初めて公開講座の講師を務めた。

指標⑭ 地域連携センターによる情報発信回数について、令和3年度からセンターへの相談件数が増加し、認知度を高めるためホームページのほか、SNSも活用して情報発信に努めている。情報発信回数は、1つのイベントについて同じ内容を複数の手段（ホームページ及び各種SNS）で発信しており、その合計回数を集計している。ホームページ・Lineは広く告知する手段として、Instagram・フェイスブックは登録者に対して情報発信する手段としている。

指標⑳ SD研修の他大学との回数比較について、道内の公立大学や道外の理工系公立大学の実施回数を調べた結果、令和5年度及び令和6年度で、1回から15回と幅があり、平均でも5.8回、5.6回となった。このことから、本学の実施回数（10回）は他大学の実施状況の平均を上回っており、比較的多くのSD研修を行っていると考えている。

【委員A】 資料には、旭川市立大学の記載がないが、調査したのか。

【法人】 対象となる情報の記載がある資料がホームページに見当たらなかった。

【事務局】 小項目別評価（案）の修正点について説明する。24ページの下段、番号81について、評価は変更ないが、評価委員会意見等として、「業務運営に当たっては、市から交付される運営費交付金が住民から徴収された税金その他貴重な財源で賄われるものであることに留意し、適正かつ効率的に収支均衡を図る必要がある。」と追記した。前回の評価委員会で事務局が説明した予算策定及び執行時の更なる経費節減の必要性について、委員から、市からの交付金が増え続けると、市の本来の業務に充てる財源が不足した場合に、双方に多大な影響がある旨の意見があったことから、公立大学の教職員として、予算策定の段階から、コスト削減に対する高い意識と不断の取組が求められることの再認識を促すため、このような記述とした。

【委員A】 注釈の記載のうち、IRについての正式名称の追記と、説明内容がわかりづらいため、わかりやすい説明に改めていただきたい。

他に意見はないか。

【各委員】 ～同意～

【事務局】 中期目標期間業務実績評価書（案）の修正点について説明する。

6ページ中段の今後期待される事項の第1項目に、前回の評価委員会で、社会人のリスキリング教育・リカレント教育について、体制整備や充実を期待したいとの意見があったことから、その旨を追記した。

9ページの「国際交流に関する目標を達成するための措置」について、海外との提携大学数が目標を大きく上回ったことから、評価結果をS評価に変更し、下段の評価理由も修正した。10ページの今後期待される事項の第2項目に、前回の評価委員会で、提携した大学がアジア圏に偏っていたため、

今後は技術に特化して提携を進めてほしいとの意見があったことから、その旨を追記した。

【委員B】 前回追記を依頼した内容が記載されており、妥当と考える。

【委員A】 他に意見はないか。

【各委員】 ～同意～

修正点の確認は委員長に一任する。

議題

(2) 今後のスケジュールについて

(3) その他

特になし